

令和5年度 赤い羽根とちぎ地域福祉活動活性化特別助成 助成決定団体一覧

No.	法人名・団体名	団体所在地	対象事業区分	事業の名称	事業内容	決定額 単位:円
1	一区町女性防火クラブ	那須塩原市	(1)	防災館体験研修	防災意識向上のため、自治会会員・育成会会員から参加者を募り、バスで防災館へ行き体験研修を行う	150,000
2	フレンド「Friend」	壬生町	(3)	子供や大人のための居場所づくり事業	主任児童員が主となり、行き場のない子どもや親たちとともに学習をしたり話ができる居場所をつくる	50,000
3	城東常設型サロン「じゃあ またね」	小山市	(3)	誰もが何でもやってみよう事業	高齢者及び多世代が交流できるような事業を行う(月1回イベント:笑いヨガ・心の歌) ※当初は体操のDVDを流すためのテレビ、DVDプレーヤーも申請があったが、申請後、寄付をいただけたとのこと。	90,000
4	特定非営利活動法人 子どもの育ちを応援する会	那須塩原市	(3)	障がい児者と家族の地域社会からの孤立を予防し居場所を作る「あすココLABO」事業	大田原市に野菜や総菜等の販売所を開き、障がい者の居場所と社会参加ができる場所をつくる	230,000
5	鹿沼市北部地区 民生委員児童委員協議会	鹿沼市	(1)	「北部地区のための防災体験」事業	学校に設置されている防災倉庫の中身の確認や使用時の連絡システムを住民みんなで学習する機会を設ける	265,000
6	社会福祉法人 芳賀町社会福祉協議会	芳賀町	(2)	災害用資機材のためのポータブル電源等整備事業	地域における災害への備えとして、資機材を整備し有事に備えるとともに、訓練等で保管場所や正しい利用法を周知する	190,000
7	鹿沼市晃望台自治会	鹿沼市	(1) (2)	地域住民同士の交流促進のための『ふれあい祭り及び自主防災祭り』開催事業	自治会及び周辺地域の住民同士が集い、交流することを通して相互に顔の見える関係を深め、地域のさらなる安心・安全な生活環境の整備と維持向上の一助とするためふれあい祭り及び自主防災祭りを開催する	300,000
8	スマイルきくさわ第2層協議体	鹿沼市	(3)	運転ボランティアと利用者のための交流会運営事業	移送サービス事業利用者と運転ボランティアの顔の見える関係性を築くため、交流会を開催する	100,000
9	菊沢きずなプロジェクト 実行委員会	鹿沼市	(1)	地域の防災意識向上のための防災啓発強化事業	防災イベントの開催や要望に応じた防災講座の開催、イベント出展を通して「防災」について誰もが楽しく学び、災害に対する意識を向上させる	227,000
10	城内自治会自主防災会	壬生町	(1) (2)	災害発生時の防災活動のための訓練活動事業	防災に関する講習を含め、非常災害時の活動を模擬した内容で炊き出し訓練を行い、発電機を用いることでいざという時に利用できる人を増やす	300,000
11	特定非営利活動法人 栃木県こども応援なないろ	宇都宮市	(3)	日常会話からこどもの課題を引き出し解決につなげる 学校内居場所支援事業 なないろカフェ	作新学院大学内で心理学を学ぶ学生ボランティアが常駐するカフェを毎週水曜日に開催し、子どもたちから不登校やいじめ、家庭の悩みなど課題の緩和や解決のための支援につなげ、子どもの未来を支援し、守る	300,000
12	特定非営利活動法人 レインボー	鹿沼市	(1)	親子で楽しく防災教室	乳幼児や小学生の親子を対象とした講座や宿泊体験の環境を提供したり、まちあるきにより危険箇所の確認と地域住民との交流の機会を設け、家庭から地域へと防災意識の向上につなげる	300,000
13	市民団体なかよしひろば にこにこてらす	宇都宮市	(3)	駄菓子屋を窓口にした子供たちの居場所事業に食を通して地域の人との交流と体験学習を深める	月に2回(主に土曜日)食育事業として子どもたちが地域の方々と共に一緒にご飯を作って食べることを通じて食べ物の大切さを学び、世代を超えた交流を行う	214,000
14	宇都宮まちづくり市民工房	宇都宮市	(1)	大学生がつながり続けるための参加型防災意識向上事業	防災に関する具体的な行動を起こしづらい大学生等若年層に対してライフスタイルに即した防災について検討する機会や、今後起こり得る災害とその知識を正しく理解する機会を、大学と協働しながら創出する	270,000

15	機動パトロール隊	鹿沼市	(1) (2)	自助・共助のための 体験型防災事業	災害を身近に感じ、防災・減災意識と共助力を向上させるため、資機材の使用体験や応急処置の実演等のための備品整備を行う	250,000
16	特定非営利活動法人 すずめのす	宇都宮市	(3)	体験の機会を失った 子どもたちのための 体験・経験の場提供事業	こども食堂の定期開催に加え、誕生会やおおよそ月1回のペースで土日で体験活動やワークショップを行い、体験の貧困下にある子どもたちに、体験・経験の場を提供し自己肯定感の向上を目指すと共に関係性の貧困を解消する	300,000
17	特定非営利活動法人 シェアハッピーエール	宇都宮市	(1)	災害対策と地域連携のための 保冷剤活用ワークショップ事業	保冷剤ボトルアートの作成、保冷剤や段ボールなど身近なものの災害における活用方法の紹介、防災ゲーム等を使用した災害時に起こる問題点を話し合うワークショップを行うことで、地域の防災意識を向上させ、災害時の問題点について話し合うことで、地域のつながりを強化する	270,000
18	中央地区地域支えあい協議体	鹿沼市	(3)	中央地区の高齢者の自立を 支えるための 日常生活支援のための 地域支えあい ボランティア活動事業	高齢者の自立を支えるため、公的サービスでは対応できない日常生活支援(家事・寄り添い支援・屋外支援)を住民による支え合いボランティアで行う	300,000
19	那須町子ども会育成会 連絡協議会	那須町	(1)	みんなのための 炊き出し訓練事業	コロナ禍により地域のつながりが低下しているため、炊き出し訓練を通じて防災の意識を高めつつ、子ども会の活性化、地域住民とのつながりづくりを行う	200,000
20	フードバンク日光	日光市	(3)	生活困窮者への 食糧品等支援事業及び 生活相談事業	生活困窮者を対象に事務所にて生活状況を聞き取り支援につなげたり、食料品等の無償提供や配布会を開催することを通じて、社会的セーフティネットとしての役割を果たす	300,000
21	特定非営利活動法人 子育て支援塾	さくら市	(1) (2)	防災意識の向上、 災害への備え、 地域の避難拠点としての 活動事業	防災資機材の保管庫としての納屋の改修と、災害時に活用する資機材の整備を通して、地域の避難拠点としての環境整備を行うと共に、整備した資機材を活用した防災意識向上のためのイベントも行う	300,000
22	こども食堂 みんなあつまれ！	佐野市	(3)	地域における つながりを絶やさないための 居場所づくりや見守り等の事 業	市内小中学生に対する食事支援、学習支援、居場所の提供及び地域参加住民の世代間交流による地域の活性化を行う	200,000
23	上三川町自治会公民館 連絡協議会	上三川町	(1)	「自治会公民館の 防災連携検討会」	自治会公民館は災害時重要な役割を担うと考えられ、1～2自治会をケーススタディーとして取り上げ、町・自治会公民館・宇都宮大学・上三川町社協等と共同検討会をワークショップ形式で行い、公民館を自助・共助・公助の連携拠点とする具体策を構築する	205,000
24	社会福祉法人 足利市社会福祉協議会	足利市	(2)	災害時における防災設備 (防災倉庫)設置事業	社協が入る建物は大規模災害時に災害VCの拠点となることから避難者の一時的な受け入れも考えられるため、災害時における防災用具と非常食の備蓄と整備を行う	300,000
助成決定額						5,611,000